


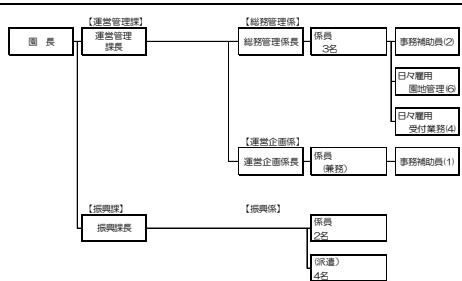
令和4年度指定管理者運営状況検証シート

1 施設名等

令和5年3月31日現在

施設名 (設置年月日)	愛媛県総合運動公園 (昭和55年5月15日)	所在地 電話 HP	愛媛県松山市上野町乙46番地 089-963-3211 https://ehime-spa.jp/		
県所管課	都市整備課	指定管理者の名称	公益財団法人 愛媛県スポーツ振興事業団		
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	利用料金制	○	あり	なし

2 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	県民のスポーツ振興を図るため、県内スポーツの中核となる陸上競技場や体育館などの各種運動施設を整備するとともに、幅広いレクリエーション活動に対応するため、キャンプ場や子供広場などの各種余暇活動施設を設置	施設の外觀
施設内容	主要施設 ○陸上競技場33,590㎡ ○体育館9,046㎡ ○テニスコート16,660㎡(うち屋根付テニスコート1,354.5㎡) ○補助競技場19,300㎡ ○球技場19,920㎡ ○弓道場1,704㎡ ○相撲場8,000㎡ ○多目的広場12,320㎡ ○キャンプ場5,000㎡	
指定管理者が行う業務	①運営に関する業務 ②愛媛県立都市公園条例第6条の規定による公園の利用の禁止又は制限に関する業務 ③利用の許可に関する業務 ④利用に係る料金の収受に関する業務 ⑤利用者への便宜の供与に関する業務 ⑥利用の促進に関する業務 ⑦施設、附属設備及び備品の維持管理に関する業務 ⑧その他知事が定める業務	
施設の管理体制		

3 検証のための指標の推移

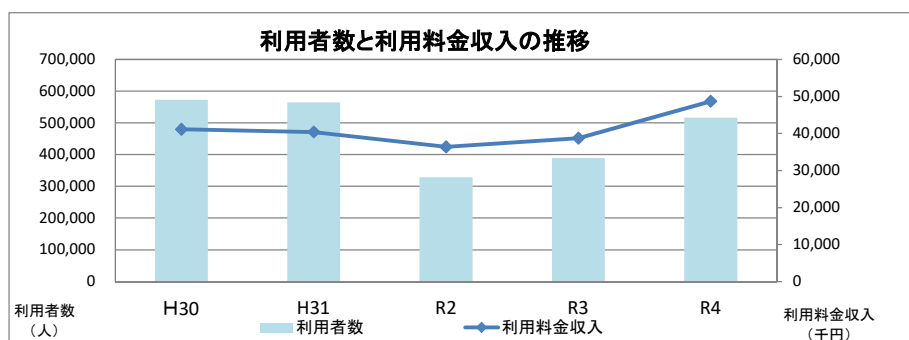
(1) 利用者数

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間利用者数	572,928 人	564,082 人	328,772 人	389,163 人	516,210 人

(2) 収支状況

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収 (A) 入	254,852 千円	255,088 千円	254,905 千円	266,330 千円	278,602 千円
委託料	191,120 千円	193,892 千円	193,044 千円	191,511 千円	191,511 千円
委託料(補正額)※	0 千円	67 千円	13,682 千円	22,998 千円	21,632 千円
利用料金収入	41,143 千円	40,403 千円	36,347 千円	38,731 千円	48,687 千円
その他収入	22,589 千円	20,726 千円	11,832 千円	13,090 千円	16,772 千円
支 (B) 出	251,431 千円	257,643 千円	256,883 千円	266,820 千円	278,739 千円
事業費	12,925 千円	11,311 千円	9,472 千円	10,713 千円	13,351 千円
維持管理費	106,230 千円	108,672 千円	109,222 千円	116,108 千円	124,603 千円
人件費	83,868 千円	87,128 千円	87,095 千円	87,580 千円	81,582 千円
その他支出	48,408 千円	50,532 千円	51,094 千円	52,419 千円	59,203 千円
収 (A) - 支 (B)	3,421 千円	▲ 2,555 千円	▲ 1,978 千円	▲ 490 千円	▲ 137 千円

(※) 新型コロナウイルスの影響等により、補正予算で増額した委託料を記載



(※2) 収支状況に大きく影響を及ぼした要因があった場合、その内容

県からの補填により、収支差が少なくなりましたが、原材料の高騰や施設の修繕箇所が増加、光熱水費の増などに伴い、支出増となった。

4 管理運営の評価

(1) 提供サービスや利便性の向上のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>○各種スポーツ大会の会場供用 ○愛媛FCホームゲームを開催(運営協力、施設整備等) ○公園情報誌、行事予定表を発行し情報提供 ○ホームページを一新し、利用者に伝えたい情報がすぐ伝わるようなホームページにした。 ○新ネット予約システム導入のため、職員への研修等地盤を固めた。 ○いーよネット活用への協力・利用料の減免 ○利用者のニーズに応えた各種スポーツ教室・大会を開催 ○レストハウスを外部委託し運営 ○国体レガシーを生かした大規模大会の誘致及び開催 ○公園修景施設(キャンプ場・子供広場)等を活用したイベントの開催 ○公園内体育施設の各競技団体との円滑な利用調整、一般利用者への公平公正な供用 ○「えひめハイパフォーマンス測定室」など、ジュニアアスリート事業への協力 ○国や県の方針を踏まえた、新型コロナウイルス感染対策及び、競技団体との利用調整 ○「(一社)日本オリエンテーリング協会公認」のオリエンテーリングパーマネントコースを設置、オリエンテーリングの実施 ○補助競技場夜間照明設置に伴う利用時間延長 ○運動公園魅力アップのため、競技団体との意見交換会を開催 ○とべ動物園・こどもの城との3施設連携による県立3施設ネットワーク協議会によるとべもりやSDGs等の事業の実施など、県や周辺施設との連携を深め一体的な利用促進を図った</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度に中止・延期が相次いだ大規模大会の開催について、令和4年度は順次再開されたため、感染症対策と利用促進を並行していく難しい運営を迫られたが、県や競技団体等との綿密な調整のもと、円滑に実施されており、評価できる。 また、各教室や大会等の利用促進事業については、同感染症の状況を踏まえ、参加人数や開催方法を調整し適切に実施した。 さらに、令和4年度からは県事業としてイルミネーションイベントを初めて実施し、多くの来園者の確保やとべもり施設間の周遊に寄与した。</p>	A

(2) 施設の適正な維持管理のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>○利用者の安全確保や大規模な故障などに繋がらないよう、早期の修繕対応などに努めた。また、利用者・競技団体からの施設・設備及び備品に関する要望を受けて、体育施設の機能維持のための改修点を必要に応じて県に伝えた。 ○小規模な修繕等(電球交換やスポーツ用具の部品交換等)については、職員で対応し経費の削減に努めた。 ○経年劣化等による抜本的改修や大規模改修が必要なものについては、県と連携して緊急性の高い箇所から修繕を実施した。</p>	<p>日々の日常点検や県との連絡調整をきめ細かにを行い、施設・設備の維持管理に努めた。 また、愛媛FCのホームスタジアムに選定されている陸上競技場の芝生について、Jリーグスタジアム基準を充足するよう、必要に応じて職員が自前で補修を行い、業務仕様書で定める水準以上の良質なコンディション確保及び経費削減に努めており、大いに評価できる。</p>	S

(3) 利用者からの評価と、意見を反映させるための取組み

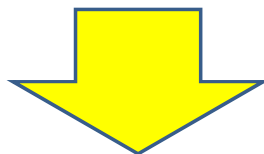
指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>○施設利用者へのアンケート、スポーツ教室参加者へのアンケートを実施。アンケートへの回答はホームページへのアップと園内掲示を行っている。 ○運動公園魅力アップのため、競技団体との意見交換会を開催</p>	<p>園内各施設5か所に設置した意見箱や、各利用者を対象としたアンケートにより、利用料金設定や事業内容に関するセルフモニタリングを行った。 また、利用者や各競技団体等の要望等を把握し、適宜、県担当者に連絡の上、適切に対応した。</p>	A

(4) 施設関連情報の発信のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>報道機関や地元広報誌へ行事予定を毎月提供するなど、積極的に情報を発信するとともに、主要大会予定表を年1回・広報誌を年4回発行し、広くPRに努めた。また、ホームページを一新し、利用者への情報提供をより分かりやすくし、県が運営するえひめ施設利用予約システムを活用して施設内容・利用方法・空き情報を提供するなど、インターネットやSNSの活用による情報発信に努め、利用促進を図った。</p>	<p>県が手のひら県庁の一環として令和5年1月に利用開始した「えひめ施設利用予約システム」について、関係先と調整の上、各施設の開始当初から導入し、利便性の向上を図った。</p>	A

【評価基準】

- S・・・仕様書等で示した基準以上の顕著な成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が特に認められるもの
- A・・・仕様書等で示した基準以上の成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が認められるもの
- B・・・仕様書等で示した基準と同程度の成果が挙げられているもの
- C・・・仕様書等で示した基準をおおむね満たしているが、一部工夫や改善を期待するもの



(5) 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

県施設所管課の総括
<p>総合運動公園は、Jリーグをはじめとするプロスポーツや、国内最高峰のスポーツ大会の会場として有効活用されているほか、強化合宿として国内外問わず多くの選手団に利用されるなど、本件におけるスポーツの中核拠点としての役割を十分に果たしている。 また、維持管理については、利用者が快適に利用できるよう芝生の質の管理や安全に配慮した植栽の維持に努めているほか、一部清掃業務においては障がい者支援施設・団体との連携により雇用機会の促進にも貢献している。 そのほか、令和3年度に設置したオリエンテーリングコースの活用や初心者向けのスポーツ教室の開催など、世代や経験を問わずスポーツに親しめる環境整備にも努めていることから、今後においても、専門家の意見を取り入れたキャンプ場の整備や、とべもり+(プラス)イベントへの参画など、更なる集客・活性化に努めてもらいたい。</p>